

7～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

73,185円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	14,700円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	20,537円
会場費(勉強会会場費)	600円
通信費(携帯電話代、折込代)	37,348円
支出計 08/7/2～08/8/31	73,185円

市政を考える 月刊武松

発行日
08/9/1

第94号

12500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠 (市議会議員)
武松政策研究会

駅前ホール案を見直し!?

再開発・(仮称)城下町ホール設計見直し! 完成まで5年!?

8月29日に「小田原駅・小田原城周辺の懸案事業についての議員説明会」が、開催されました。これまでの経緯とその内容を説明します。

■市長選と6月定例会では、ホールを駅前に!

5月の市長選及び、市長就任後の市議会6月定例会で市長は、ホール予定地について、これまでの三の丸地区から、駅前お城通り地区再開発事業用地への変更を提案していました。

■再開発地権者から要望書&陳情書

6月3日に再開発事業の民間8地権者が、計画を変更しないよう求める要望書(変更した場合は一切、協力しない旨)を加藤市長に提出しました。

■重点施策の進め方について議員説明会

7月5日の議員説明会では、今後の重点施策の進め方について、まず市長より考え方の説明があり、次に担当部長から、機構改革や実現可能性を検証する外部委託について説明がありました。その委託の内容は、ホールをお城通り地区再開発地域に建設した場合の検証を9月までに行う旨でした。

■事業施工者が民事再生法適用申請

8月13日に、お城通り地区再開発事業での事業施行者である(株)アーバンコーポレイション(本社・広島市)が民事再生法適用を申請しました。負債総額は2558億円。

■議員説明会で見直しの見直しを説明

8月29日の議員説明会では、小田原駅・小田原城周辺のまちづくり(お城通り地区、三の丸地区、地下街)の視点から一体的、かつ外部委託した中間報告も加え検討した結果の説明がありました。

再開発事業用地の活用では、市長提案のホール中心型を含む、4案の検討しています。

A案：ホール中心型

商業が少ないため、市が事業費を負担

B案：ホール商業両立型

建物高さが44mになり、駅から城の眺めを阻害

C案：ホール商業融合型

建物高さを30m以下にすると、ホールを700名程の中ホールにしなければならない。

D案：公共施設商業融合型

従来計画の見直しで、公共施設、市民活動施設の集約と適度な商業施設の配置により、民間再開発事業も可能となる。

その結果、最終的に市長がD案を選択しました。

見直しのポイントは、

①再開発事業は公共要素を高めた案に変更する。

再開発地域へのホール建設案を元に戻す。

②(仮称)城下町ホールは三の丸地区の現予定地で進める。現市民会館・臨時駐車場に案内所など回遊性を高める機能を配置する。

③小田原地下街は商業利用を中心とした活用を図る。

説明会の中で、市長は、技術的な可能性、事業の早期実現や関係者・地権者への配慮などを総合的に判断し、見直し案を選択したと説明しました。

9月定例会には、10月以降に設置予定の公募市民や専門家を交えた検討委員会の補正予算も上程されており、設置後はその委員会での検証・検討を経て、市としての最終方針を決定することになります。

こうした、見直しをどのように評価するかですが、一定の評価をしつつも、**早期事業化と言っても完成は2013～14年になってしまうことは、大幅な事業の遅れとなることに変わりありません。**そうなると、現市民会館の耐震診断(9月補正予算に1600万円計上)や、その結果如何によっては、閉鎖や耐震補強も必要となります。アーバンコーポレイションの件も含め、しばらくは流動的な状況が続きますが、議会としてもきちんとチェックしていかなければなりません。

議会ネット中継!?

議会インターネット中継が、9月2日の本会議より始まります。映像としては、動画であっても、あまり動く映像ではありませんから、面白味は期待できません。

お急ぎの方は、従来の会議録キーワード検索で、文字ベースの方が、適していると思います。

時間のある方は、映像はともかく、他の仕事をしながら、ラジオのように音声だけ聞くといいかもしれません。

どのように利用するかは、個人の自由ですが、それが「できる」と「できない」では大違い。市民の議会傍聴の選択肢が増えることは、とても大切なことです。

■開始期日 平成20年9月2日(火)
午前10時から、生中継映像の配信開始

■公開予定の映像

①生中継映像〔本会議開会中のみ公開〕

②録画映像

〔生中継終了後、おおむね5日以内に公開〕

③会議録付き録画映像

〔定例会閉会后、約4カ月後に公開〕

■主な検索機能

録画映像では、開催年、定例会名、開会日、発言者、キーワードなど(発言内容)により、視聴したい映像の検索が可能となります。

■視聴方法

①パソコンで小田原市議会公式サイトを開く

YAHOO!やGoogleで「小田原市議会」と入力
「小田原市議会公式サイト」へようこそを選択

②サイト内の「議会中継システム」を選択

③視聴したい映像(ライブ、録画等)を選択

④視聴開始

■その他

①インターネット接続にはADSL接続以上の高速回線でのご利用を推奨いたします。

②ネットワークの混雑や、接続しているプロバイダーの状況、パソコンのCPU、メモリーなどが不足している場合、うまく視聴できないことがあります。

The Voice 合併に関するご意見から

今のままでは期限内合併の機運がそれほど強いとは思えません。

将来的には合併はありえるでしょうが、少なくとも期限内は無理でかつ、2市8町の巨大合併は足並みがそろわないでしょう。合併しないなら、少なくともよいのですが、合併には都市計画税や事業所税の負担が伴う可能性があるため、早くはっきりしたほうがよいと思います。

今、合併をしない最大の理由は、団塊世代の定年退職者が多い時期に、採用数を減らし結果的に公務員定数を減らすことです。小規模自治体では、定数を減らすことは本当に大変なことです。

いずれ赤字になり合併しないと困る自治体の救済を考えてのことですが、仮に、そういう自治体が出ても、小田原市には救済の義務や必然性がでる訳でなく、当該の自治体が困るだけのことです。ただ、近隣の自治体としては、当該自治体のことを無視する訳にはいかないでしょうが…。景気とか経済は行政で区切られた市町村単位でなく、地域全体に影響がでるわけですから。かといって、小田原だけが周辺自治体の面倒を見ないといけなくなるのは酷ですね。

武松政策研究会からのお知らせ

9月の勉強会は

日 時：9/27(土)18時～20時

場 所：市民学習フロア 学習室B(旧丸井1階ドラッグストア奥のイベントで4階)

テーマ：「再開発・ホールについて」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



i-mode HP →



HPIは、YAHOO!で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は本人とボランティアが配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、eメールでも送付していますので連絡下さい。